

地区名 秋田市

所在地 秋田市雄和妙法

バス駐車 ○ 大地のつくり

トイレ ○ **水のはたらき**

露頭までの道のり

秋田空港から秋田市に向かう道路から見える。水沢橋に向かう交差点付近を秋田空港からの進むと右折して中学校などの公共施設を目指すと田んぼ沿いに露頭が広がっている。

安全上の留意点

近くに公共施設が集中しているのでバスの駐車やトイレは許可をとれば可能になる。露頭は大きく、幅も広いので観察はしやすい。しかし、硬い泥岩がほとんどなので軍手などをしないと割れ口でけがをする危険がある。通学路や農道として活用されている場所なので、礼儀作法に気をつけさせたい。

観察のポイント

- ① 厚く泥の層が堆積していること。
- ② 粒が細かな泥岩の手触りを感じる。
- ③ 角ばった火山岩がないこと。
- ④ 大きな地層の広がりを感じる。



地質年代

新第三紀中新世中期～後期(約1100万年前頃)

露頭概観

指導形式

B

解説

女川層と見られ、秋田県がまだ深い海底であった頃に堆積した泥の層が観察できる。泥とは言ってもとても硬く、化石は魚の鱗や骨などがでる層であることが報告されているが、今回の調査では見つけることはできなかった。どこを見ても泥の層であり、角ばった石などがいないことから「水のはたらき」でできた大地だと判断できる。

(筆者独自調査)



通学路や農道として活用されている道ばたが観察場所。車に気をつけることとむやみに露頭を傷つけないことが必要である。



触るととても硬く、素手で観察しているとけがをする可能性もある。軍手の着用が必要。



泥岩を割ってみたところ。緻密な構造をしており、細かな粘土の粒がぎっしりとつまっているのが分かる。